

〈平成22年（2010年）基準〉

# I 調査結果の概要

## 1 概況

平成25年の農産物価格指数（平成22年を100とする。以下同じ。）の総合は102.8となり、前年に比べて1.0%上昇した。また、農業生産資材価格指数の総合は106.4となり、前年に比べて3.4%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は96.6となり、前年に比べて2.3%低下した。

図1 農作物価指数の推移(平成22年=100)

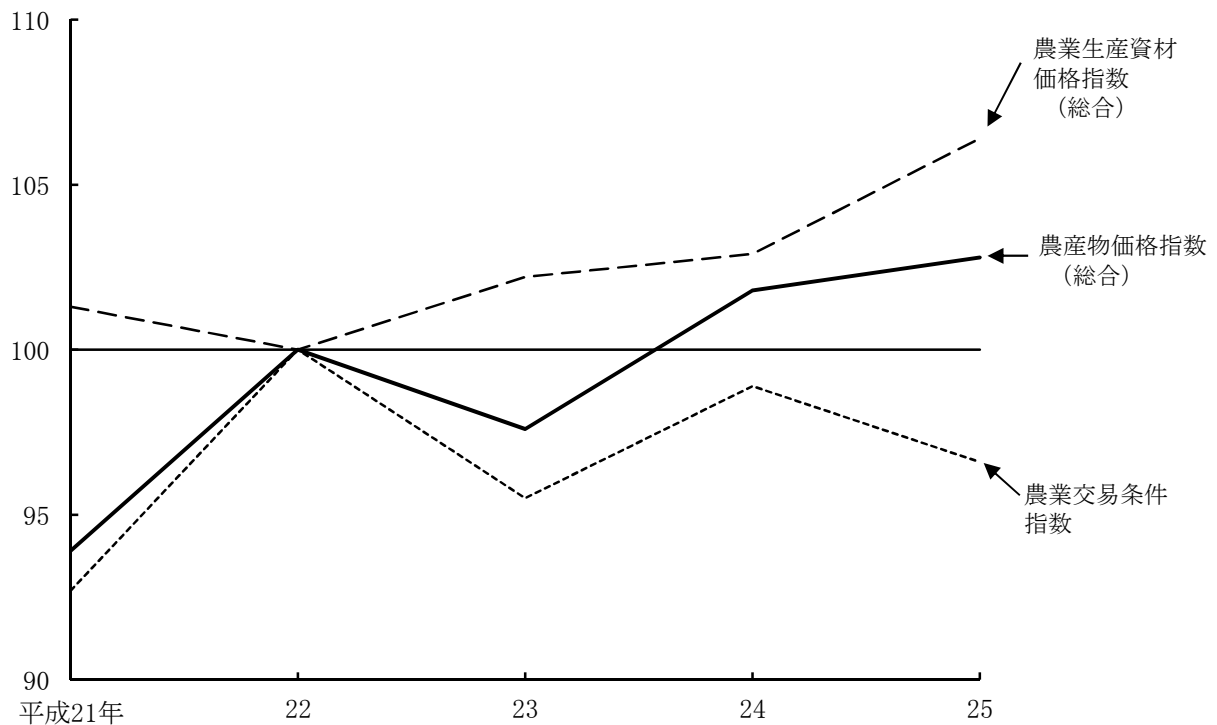


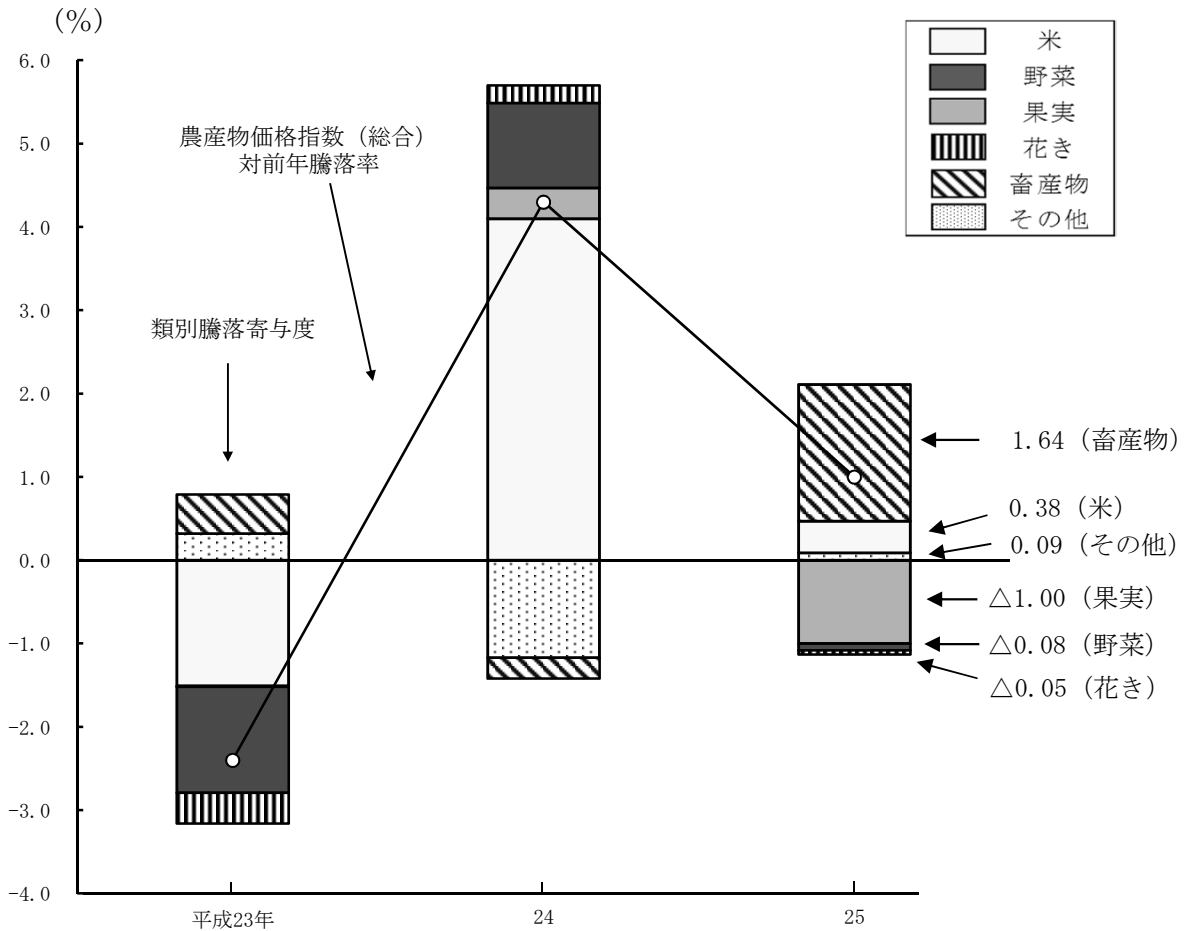
表1 農作物価指数の推移

区 分	平成22年=100				
	平成21年	22	23	24	25
農産物価格指数（総合） ①	93.9	100.0	97.6	101.8	102.8
農業生産資材価格指数（総合） ②	101.3	100.0	102.2	102.9	106.4
農業交易条件指数 ① / ② × 100	92.7	100.0	95.5	98.9	96.6

## 2 農産物価格指数

平成25年の農産物価格指数（総合）は102.8となり、前年に比べて1.0%上昇した。これは、米、畜産物等の価格が上昇したこと等による。

図2 農産物価格指数（総合）の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：1 騰落寄与度とは、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである。

2 騰落寄与度の「その他」には「麦」、「雑穀」、「豆」、「いも」、「工芸農作物」及び「稲わら」が含まれる。

### ア 米

米は112.8で、前年に比べて1.5%上昇した。これは、24年産米の価格が上昇したことによる。

### イ 野菜

野菜は98.7で、前年に比べて0.3%低下した。これは、春先の天候に恵まれたことにより、葉茎菜類及び果菜類の収穫量が増加し価格が低下したこと等による。

ウ 果実

果実は94.7で、前年に比べて7.9%低下した。これは、りんごの収穫量が不作であった23年産に比べて24年産は増加したことから、価格が低下したこと等による。

エ 畜産物

畜産物は107.7で、前年に比べて6.7%上昇した。これは、豚肉の輸入量が減少し、国産への代替需要が増加したことから肉畜の枝肉価格が上昇したことに加え、子牛の取引頭数が減少し、子畜の価格が上昇したこと等による。

表2 農産物類別価格指数

平成22年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成24年	25	平成24年	25	平成24年	25
農産物総合	10,000	101.8	102.8				
				%	%	%	%
米	2,247	111.1	112.8	4.3	1.0	4.30	0.98
麦	90	73.1	65.3	19.1	1.5	4.10	0.38
雑穀	11	54.4	51.9	△ 2.7	△ 10.7	0.02	△ 0.07
豆	90	91.6	94.6	△ 8.2	△ 3.3	0.03	0.00
いも	259	80.2	78.7	△ 8.2	△ 3.3	0.08	0.03
野菜	2,700	99.0	98.7	△ 21.8	△ 1.9	0.59	△ 0.04
果菜	1,169	104.7	104.1	△ 3.9	△ 0.3	1.02	△ 0.08
葉茎菜	1,099	92.5	91.8	△ 6.2	△ 0.6	0.73	△ 0.07
根菜	316	100.0	101.9	△ 3.5	△ 0.8	0.35	△ 0.08
まめ科野菜	116	100.2	101.9	△ 0.4	△ 1.9	0.01	0.06
果実	1,256	102.8	94.7	△ 6.0	△ 1.7	0.08	0.02
工芸農作物	392	101.6	106.1	△ 2.9	△ 7.9	0.37	△ 1.00
花き	501	96.8	95.8	△ 9.8	△ 4.4	0.45	0.17
畜産物	2,449	100.9	107.7	△ 4.4	△ 1.0	0.21	△ 0.05
鶏卵	118	95.7	106.7	△ 1.0	△ 6.7	0.25	1.64
生乳	1,115	102.5	103.2	△ 9.7	△ 11.5	0.12	0.13
肉畜	847	97.8	106.9	△ 1.2	△ 0.7	0.14	0.08
子畜	325	106.4	124.6	△ 3.4	△ 9.3	0.30	0.76
成畜	44	94.6	114.5	△ 1.4	△ 17.1	0.05	0.58
稲わら	5	104.3	106.3	△ 1.8	△ 21.0	0.01	0.09

注：騰落寄与度とは、農産物価格指数(総合)の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかであり、算式は以下のとおり。

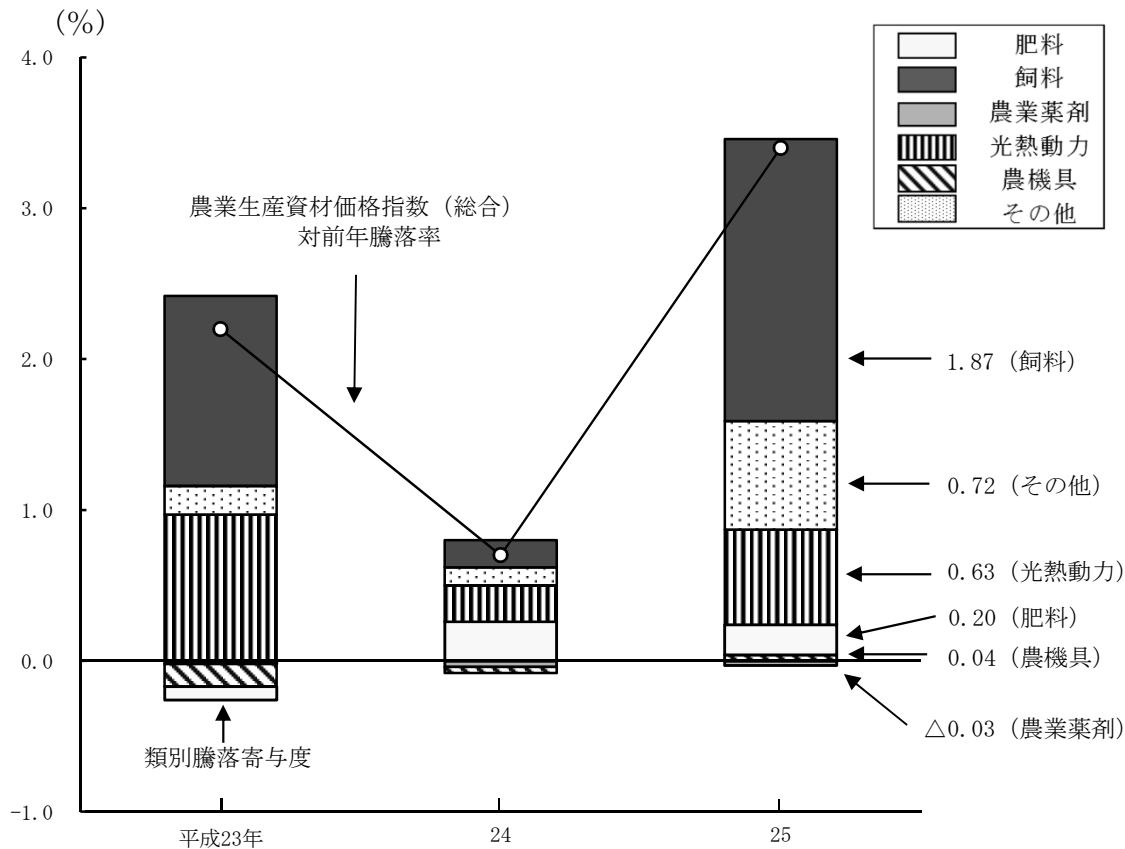
$$\text{騰落寄与度}(\%) = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

### 3 農業生産資材価格指数

平成25年の農業生産資材価格指数（総合）は106.4となり、前年に比べて3.4%上昇した。

これは、飼料、光熱動力等の価格が上昇したこと等による。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：1 騰落寄与度とは、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率を各別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである。

2 騰落寄与度の「その他」には「種苗及び苗木」、「畜産用動物」、「諸材料」、「自動車・同関係料金」、「建築資材」、「農用被服」及び「賃借料及び料金」が含まれる。

#### ア 肥料

肥料は103.6で、前年に比べて1.9%上昇した。これは、円安の進行による原材料の輸入価格の上昇から複合肥料の価格が上昇したこと等による。

#### イ 飼料

飼料は119.8で、前年に比べて10.4%上昇した。これは、円安の進行によるとうもろこし等の原材料の輸入価格の上昇から配合飼料の価格が上昇したこと等による。

#### ウ 光熱動力

光熱動力は120.0で、前年に比べて6.2%上昇した。これは、円安の進行による原油の輸入価格の上昇により重油の価格が上昇したこと等による。

表3 農業生産資材類別価格指数

平成22年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成24年	25	平成24年	25	平成24年	25
				%	%	%	%
農業生産資材総合	10,000	102.9	106.4	0.7	3.4	0.68	3.40
種苗及び苗木	525	100.4	101.3	0.2	0.9	0.01	0.05
畜産用動物	440	102.7	115.3	0.4	12.3	0.02	0.54
肥料	1,070	101.7	103.6	2.5	1.9	0.26	0.20
飼料	1,701	108.5	119.8	1.0	10.4	0.18	1.87
農業薬剤	887	99.3	98.9	△	0.5 △	0.04 △	0.03
諸材料	378	101.2	101.6	1.0	0.4	0.04	0.01
光熱動力	928	113.0	120.0	2.4	6.2	0.24	0.63
農機具	2,072	99.1	99.3	△	0.2	0.04 △	0.04
自動車・同関係料金	578	100.6	100.8	0.4	0.2	0.02	0.01
建築資材	392	102.8	104.2	0.5	1.4	0.02	0.05
農用被服	32	102.4	102.5	1.6	0.1	0.01	0.00
賃借料及び料金	997	99.7	100.3	0.0	0.6	0.00	0.06

注：騰落寄与度とは、農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである（算式は表2の注のとおり。）。